

北空知地域医療介護確保推進協議会 事業報告に係る説明資料

○Ⅰ 部会「医療介護相談・在宅生活支援部会」

- ①認知症研修会の開催_____ 38～39
- ②北空知地域入退院支援研修会（北空知地域ACP研修会）の開催_____ 40～45

○Ⅱ 部会「多職種連携・地域啓発部会」

- ①地域包括ケアに携わる多職種合同研修会（北空知地域ACP研修会）の開催 40～45
- ②北空知地域医療介護連携支援センターホームページの更新_____ 46
- ③在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 妹背牛の開催_____ 47
- ④医療・介護・健康講座リーフレットの作成_____ 48
- ⑤北空知地域リハビリテーション活動支援事業の概要_____ 49～55



認知症研修会開催報告

～認知症ケアに関わる取り組みについて学ぼう～



高齢者の運転や免許返納についての基本的な考え方を専門家から学び、高齢者支援に関わる関係者が日頃の困難事例への対応について広く情報を共有し、検討する機会とする

日時 令和7年12月12日（金） 17:30～19:00

場所 深川市立病院2階会議室

参加者 薬剤師1名、看護師14名（認知症認定看護師1名）、保健師9名、介護支援専門員6名、ヘルパー2名、社会福祉士1名、MSW1名、行政職3名、リハ職3名 **計40名**

開会挨拶：在宅生活支援小部会長 黒瀧 仁司

講演：「認知症研修会～高齢者の運転免許について～」

内容：運転者の一般的特性・交通事故の概要・高齢者の運転免許更新の概要・運転免許証の返納制度等について

講師 旭川方面深川警察署 交通課長 上村 健太郎 先生

グループワーク高齢者の免許返納の成功体験・困難事例の意見交換会



警察署上村氏から、高齢者（認知症）の運転・免許証返納等について講演

〈免許更新と認知機能検査について〉

- 免許証の有効期間：70歳までは5年、71歳からは4年、72歳以上は3年、70歳～74歳：高齢者講習（実車・講義）のみ、75歳以上：3年に1度の認知機能検査が義務。更新期間満了する6ヶ月前から受講可。
- 検査で認知症の恐れありと判定された場合、医師の診断書提出が義務化（令和4年改正）。拒否すれば免許取消・停止となる。認知症に限らず、てんかんや躁うつ病などの一定の病気で、疑いがある場合も該当
- 一時不停止や信号無視等をした場合は「運転技能検査」が必要。

〈警察の介入〉

- 行政処分の基準：日常生活に支障が生じている（認知症）と医師が診断した場合にのみ、免許の取消・停止が可能。医師の診断書の内容から行政処分をかけ、交通の場から排除して交通事故を抑止する。運転するという「住民の権利利益の保護」と、交通事故防止のための「運転の不適格者の排除」を行う。軽度認知障害（MCI）は認知症ではないため、行政処分はかけられず、そのため車を運転できる。
- 事故を起こして状況が理解できない場合、家族・関係者 包括等からの相談、年2回以上交通事故を起こした高齢者については連絡し状態を把握する

〈質疑応答〉

質問) 認知症と診断を受け医師からは運転しないでくださいと言われていた、その後何回も説得したが、返納なし。近所の人から車庫入れが危ないと警察に通報。警察官が来て本人返納した方がいいですねと話し診断書の提出を求められた。

既に診断は受けていたが、警察の様式の診断書が必要であったがそういう認識でよいか

回答) 一般的な診断書は、免許の返納を求めるためには使えない。行政処分で本人に対する不利益処分となる。警察の書式の診断書必要。診断書は郵送で取り寄せも可

結果・御礼) ありがとうございます。ちなみにそのケースは、既に認知症と診断されているし、行ったところで同じ結果になるのだから、新たに診断書をもらわないで返納した方がいいよと説得して、自主的に返納してくれました。警察の方が介入してくれたおかげで、返納する気持ちになったっていうところでよかったなっていうふうに思ってたケースでした



グループワークにて活発な意見交換が行われました

【成功体験】

- ・免許の更新と車検のタイミングが合いそのまま自主返納に繋がった (家族)
- ・タクシーチケットの助成等で返納に繋がった。
- ・北竜町返納時に役場まで連れて行ってくれる。
- ・タクシーチケット 5 万円分、デマンド交通も始まっている
- ・運転が心配な方には警察の方が介入してくださっている
- ・ケアマネが運転に同乗し危険な行動を伝え返納になった

【困難事例】

- ・すごく心配な運転だが検査に受かってしまう。問題集で覚えている方もいる
- ・乗れなくなると買い物ができなくなり、外出できなくなるとさらに認知機能の低下が進んでしまう
- ・認知症を認めると足がないと生活できないと訴えられると、生活の手段を奪ってしまうということで医師もかなり慎重になっている



【今後の課題・検討事項】

- ・交通環境が整わず返納つながらないのでは。運転しなくても生活が不便にならないような町で運営バスなど交通整備。行政のサポートが必要
- ・家族が返納させようとする関係が難しくなってしまうので、警察など第三者の介入が大事ではないか
- ・運転をやめさせたいと思っていても、その人の楽しみを奪ったり、生きるための手段を奪ってしまうので、代案をちゃんと提示してあげなければ返納には繋がらない
- ・若いうちから免許返納について考える機会を作る。など

アンケート回収率は驚異の 95% でした

研修会の内容は理解しやすかったか→とてもそう思う、そう思う合わせて 95%
グループワーク→とても有意義・有意義合わせて 97% と好評だったように思います

北空知地域 ACP（人生会議）研修会 開催報告

- ・ 日 時 令和7年（2025年）10月28日（火）18:00～19:30
- ・ 開催方法 ハイブリット形式（会場＋zoom）会場：深川市経済センター3F 多目的ホール
- ・ 主 催 北空知看護研修会（事務局：深川保健所企画総務課）
- ・ 共 催 北空知地域医療介護確保推進協議会
（医療介護相談支援小部会・多職種連携研修小部会）
- ・ 参加者 64名（内WEB参加12名）
（職種別：看護師30名、保健師11名、理学療法士1名、介護支援専門員7名、
介護福祉士4名、社会福祉士3名、事務職1名、生活相談員2名、看護教員5名）
- ・ 目 的 看護職及び医療介護福祉専門職等がACPに関する知識を学び、限られた社会資源の中で、いかにして北空知地域で住民主体の在宅医療を推進していくかを検討する。
- ・ 目 標 （1）参加者がACPの理解を深めることができる。
（2）医療・介護・福祉専門職間で意思決定支援を考えることができる。
（3）参加者が北空知地域で取り組めるACPについて考えることができる。

令和7年度北空知看護研修会・北空知地域医療介護確保推進協議会研修会
主 催：北空知看護連携推進会議・北海道深川保健所（事務局）
共 催：北空知地域医療介護確保推進協議会

地域で
ACP
人生会議
について
考える

10/28(火)18:00～19:30

「もしものときに、どうしたいか」は、変わっていくことがある。

高齢化が進んでいる北空知圏域
住民がわがまちで最後まで自分らしく暮らせる方法と一緒に考えてみませんか？

可能な方は
会場参加を
お願いします

社会医療法人恵和会 西岡病院
内科部長 澤田 格氏
医療ソーシャルワーカー 岡村 紀宏氏

10/7（火）までに
申し込み下さい

参加対象：北空知地域の在宅ケアに興味がある方（従事者）
会 場：深川市経済センター3F多目的ホール
連絡先：0164-22-1421（深川保健所 企画総務課）

申込みフォーム



司会は北空知看護研修会・医療介護
相談支援小部会・多職種連携研修小
部会 六田委員（保健所）です。



開会の挨拶は塚原看護部長
（市立病院）です。

講義・グループワークの様子



講師：西岡病院

MSW 岡村 紀宏 氏

西岡病院

内科部長 澤田 格 先生



令和7年度 北空知地域 ACP（人生会議）研修会開催結果・評価

項 目	内 容
1 日 時	令和7年（2025年）10月28日（火）18:00～19:30
2 内 容	（1）講 演 テーマ 地域でACPについて考える ～「もしものときに、どうしたいか」は、変わっていくことがある～ 講 師 社会医療法人恵和会 西岡病院 内科部長 澤田 格 先生 医療ソーシャルワーカー 岡村 紀宏 氏 （2）グループワーク ① どのタイミングでの意思確認が必要か ② どのようにしたら北空知地域で普及ができるか （3）グループワーク結果の意見交換・質疑応答
3 出席者	看護師30名、保健師11名、理学療法士1名、介護支援専門員7名、介護福祉士4名、 社会福祉士3名、事務職1名、生活相談員2名、看護教員5名 合計64名（内WEB参加12名）
4 結 果	1 講演 ・講演では、西岡病院と「とよひら・りんく」の紹介があり、豊平区西岡・福住地区の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、社会福祉士等の多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指し、政策立案や均てん化などを資することを目的に設立。年4回の合同会議を定期開催し「人生の最終段階の意思決定支援」、「感染症」など、在宅医療に関する話題を学ぶ研修会を実施しているとの話があった。 ・ACPの実践としては、西岡病院の事例を通してACPサイクル（①話す②残す③伝える④見直す）やACPに必要な基本コミュニケーション技術（反復・沈黙）について学んだ。 2 グループワーク ・①どのタイミングで意思確認が必要か、②どのようにしたら北空知地域で普及できるかをテーマに、行政、病院、施設、介護事業所、看護学院、保健所などそれぞれの立場・職種から9グループに分かれグループワークを行った。 3 アンケート ・アンケート回答者29名／64名。回収率45.3%。 ・選択設問として、（1）職種、（2）経験年数、（3）研修会をどこで知ったか、（4）研修会の内容は期待していたものに沿っていたか、（5）ACPの基本的な考え方について理解が深まったか、（6）研修会のテーマは地域の課題として重要だと感じたか、（7）自身がかかわる場でACPを実践するために何か行動を起こしたいと思ったか、（8）全体としてこの研修会に満足しているか ・自由記載設問として、（1）今回の研修会で最も印象に残った点、または最も参考になった点、（2）今回の研修会で内容が不足していた点や、もっと詳しく聞きたかった点、（3）今後、この研修会で取り上げて欲しいテーマや研修の方法について、（4）研修全体を通しての意見・感想、の欄を設けた。 全体を通して、参加者は講演内容やグループワークを通じて、ACPについての理解を深

	めたことが伺えた。意思決定は変わるということ、「本人」の意思を尊重し家族のみの意見が反映されるものではないことが重要であることを再認識したなどの回答があり、研修の効果が高かったと思われる。
--	---

5 評価 達成度 について	【目 的】 看護職及び医療介護福祉専門職等がACPに関する知識を学び、限られた社会資源の中で、いかにして北空知地域で住民主体の在宅医療を推進していくかを検討する。 【目 標】 1. 参加者がACPの理解を深めることができる。 2. 医療・介護・福祉専門職間で意思決定支援を考えることができる。 3. 参加者が北空知地域で取り組めるACPについて考えることができる。
○→達成・ 良かった	○地域の多職種連携の課題に即した企画だったか →「○」 ・ACP は1つの業種にとらわれず多職種が連携して情報共有を図りながらその方の支援を必要とすることであると思いますので、多職種連携の課題に即した企画であると思いました。 ・高齢化率の非常に高い北空知地域において、今後在宅医療の推進は必須であり、住民のニーズを十分に把握した上で対策を推進するためにACPの取り組みは重要かつ早急に開始する必要があったため。 ・多職種間に関係のある課題で共有できる企画だったと思う。 ・多職種で理解を深め共有する内容であったため。
△→ほぼ 達成・ まあまあ 良かった が課題あり	
×→達成 できてい ない・良く なかった	○テーマの選定 →「○」 ・このテーマで行ったことはとてもいいと思いました。まず、ACPという言葉しか知らない方や言葉は知っていても理解が不十分な方などがいたと思います。 - このテーマによってACPの理解を全てできるわけではないかと思いますが、そのきっかけになった研修であったと思います。 ・上記と同じ。 ・いろいろなところでACPが取り上げられていて多くの人が興味関心のあるテーマだったと思う。 ・多職種連携において重要なACP（人生会議）をテーマとしていたため。 ・身寄りのいない方が増えてきているので、テーマとして良かった。 ○周知方法 →「○」 ・所属からの案内が多い状況が分かりました。以外でもチラシ等で周知していますが、圧倒的に所属機関のからの案内が多いので今後も同様の周知方法で参加者を集めることがいいと感じています。 ・メール・郵送等により広く周知できている点は良いと思います。介護施設職員の出席が少なく、周知の工夫が必要と感じました。 ・郵送する範囲が若干限定的だったのではないかとと思う。 ・チラシの内容も解りやすく、法人職員へも伝えやすかった。

	○会場・WEB参加の状況 →「○」 ・事務局の準備に大変さを感じました。会場・WEB 両方ではなく、今後も研修を続けていくと思うので負担のないかたちでの研修を開催する方法がよいと思いました。なので、会場とWEBの両方で行う必要はなくどちらか一本で行った方がよいと思います。 ・5年ぶりの集合開催でしたが、50名以上が会場参加できたことは良かった。WEB参加枠も設けたことで、施設看護師等の現場を離れづらい方が参加できたことも効果的であったと感じました。 ・大きな会場で集まりやすかった。WEB参加者もあり準備が大変だったと思うがハイブリッド開催は良かった。 ・全体では現地参加も多く良かったと思うが、当法人職員では間に合わなくWEB参加者もいた。
ブ ロ セ ス	○小部会の打合せ・準備状況 →「○」 ・各担当者がZoomで話し合い打ち合わせを行うことができ、それほど多くの回数の打ち合わせをせずに物事が進んだと思います。準備に関しては特に気になることはありません。 ・3つの団体・小部会が共催であったため、どこかが主導で行うのかが分かりにくかった。そのため、3団体間の調整が難しかった。 ・初めて参加したため不慣れなための不安があった。 ・小部会において事前の打合せを実施し、企画内容や進行方法について意見を共有しながら準備を進めた。 ○小部会のメンバーそれぞれの役割を遂行できたか →「△」 ・保健所・1部会との共同での開催となり、それぞれ役割を分担し行っただけですが、感覚的で申し訳ありませんが、看護研修会の事務局も兼任している委員に負担が多くあったのではないかと気になってはいました。 ・決定した役割は、各自遂行できていたと思います。 今回は講師に講義内容を一任したため直前まで流動的な部分があり、事前に決めた役割分担から変更が生じたが、タイムリーに調整ができなかった。次回も同じ講師なら、打合せの段階から会議に参加してくれると思われる。 ・始めは資料作りを請け負ったが途中で役割が変わった。当日会場で何となく役割を探して動いた。 ・事前に役割分担を行い、当日は各メンバーが担当する役割を担いながら運営を行った。自身は会場準備のみであったが、皆さんがそれぞれ役割を果たしていた。 ○参加者の状況・職種 →「△」 ・グループワークがあったことでケアカフェではありませんが、それぞれの思ったことを話すことができ良い研修で会ったと思います。ただ、△にしたのは看護職が多かったことから介護福祉士や社会福祉士、事務職や生活相談員などがもっと参加できれば良かったかなと思いました。 ・病院看護師が半数近くを占めており、医療と介護の連携という面では、施設の介護職・看護職等が増えると良いと感じた。また、在宅医療の推進において薬剤師・栄養士・リハ職も大きな役割を担うと为了更好的ため、参加が増えると良いと感じました。 ・多職種の方にご参加いただけた。

	・多職種からの参加があり、連携を意識した場となった。一方で、自身の法人からの参加者は少数であった。 ・病院勤務の病棟看護師や施設勤務の介護職・相談員の方にもっと参加してほしかった。
結果	○参加者数・職種 →「△」 ・十分な人数が集まったと思います。ただ、看護職が多い印象を受けています。 ・上記と同じ。 ・多くの方にご参加いただけ、多職種で話し合えた。 ・全体としては参加者数も多く、幅広い職種の参加があった。一方で、福祉系職員の参加はやや少なく、当法人においては介護職の参加がなかった。 ○参加者の満足度 →「○」 ・わかりやすい講義であったとのアンケート結果から満足度は高いと思います。 ・ACP の基礎理解にはつながっていた。一方で、実践への活かし方が具体的にイメージできなかった参加者も多かった。今後、具体的な取り組み事例や各機関・職種での役割について具体化する学習ができると良いと感じました。 ・アンケート結果にもあるがグルワクの時間が短く不完全燃焼感があった。 ・参加者からは「とても良い研修会だった」との意見が聞かれ、全体として満足度は高かった。 ・ACP の取り組み、イメージが出来なかったという感想もあり、具体的な取り組みを学び実践することが課題と感じた。
まとめ	○ACP をテーマとした本研修会は、高齢化率の非常に高い北空知地域において、多職種が連携して早急に取り組むべき企画であった。ハイブリット開催として、久々の集合研修で実際に参加者同士がグループワークで意見交換、交流も出来たのが良かった。 ○参加者の職種では、看護師の参加が1番多かったが、病院勤務の病棟看護師や施設勤務の介護職・相談員の方の参加が少なかった。 ○次年度以降も集合形式の研修会が良く、ACP の研修は継続が必要で、実践的な取り組みが課題。



「医療や介護が必要になっても住みなれた自宅や地域で自分らしく暮らしたい。」

~その想いをかなえるために支援を行います~

北空知地域医療介護連携支援センターは、北空知1市4町（北空知市、北空知町、北空知町、北空知町）に居住するの
に限り、医療や介護が必要になっても、住みなれた自宅や地域で自分らしく暮らしたいという想いをかなえるように、
様々な支援を行う。この支援を受けるには、地域の医療機関や介護施設と連携し、必要に応じて支援を受ける。

北空知地域医療介護連携支援センターと連携
する医療機関や介護施設は、以下のとおりです。

北空知町
地域医療支援センター

北空知町
地域医療支援センター

・医療・介護サービスガイドの更新の
ほか、「きたそらりんく」の運用開始、
研修会等の開催報告など、ホームページ
を更新しました。

お知らせ・ニュース

- 2024年 10月16日 水曜日 [在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin深川のご案内](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [北空知地域の社会資源・インフォーマルサービス一覧を更新しました](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [北空知薬局ガイドを更新しました](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [北空知歯科診療所ガイドを更新しました](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [北空知診療所ガイドを更新しました](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [北空知病院ガイドを更新しました](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [北空知介護保険サービス事業所ガイドを更新しました](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [令和6年度北空知看護研修会のご案内](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [認知症スキルアップ研修会の開催報告](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin沼田の開催報告](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」第1回ケア・カフェきたそらち『弁護士さんに聞く！身寄りのない方の支援』の開催報告](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [令和5年度北空知地域入退院支援研修会の開催報告](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [各専門部会構成員の名簿を更新しました](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [北空知地域医療介護連携支援センタースタッフ一覧を更新しました](#)
- 2024年 08月29日 木曜日 [地域包括ケア推進協議会構成員の名簿を更新しました](#)

在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 妹背牛の開催報告

～ いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか？ どう送りたいですか？ ～

・日 時 令和7年11月23日(日) 13:00～15:00

・場 所 妹背牛町民会館

・参加者 194名（妹背牛町 114 名、深川市 27 名、秩父別町 26 名、沼田町 6 名、北竜町 2 名、その他 19 名）
（一般 181 名、支援関係者 13 名）

- ・目 的 ・自分自身や家族の今後の生活の送り方について考える機会をつくる
- ・認知症の理解と対応について学ぶ機会をつくる

令和7年度の北空知地域住民フォーラムでは、妹背牛町の取り組み紹介と介護劇を開催しました。介護劇では、日々日常でみられる認知症の方々を取り巻く姿を演劇の中でわかりやすく、老若男女に伝わるように表現されていました。アンケート結果からは、難しい講演を聞くよりも演劇の方わかりやすかったという意見が聞かれ、演劇を通して、高齢化社会の課題と認知症に関する理解を深めることができました。また、日々介護と向き合う年代からは、自己を見つめなおす機会となり、若年・壮年期の今後近い未来に認知症と向き合う年代からは、今後の事を考えた生活設計が必要であるという意見が聞かれ、演劇を通して今後の生活を考える機会となりました。演劇では、キャストの方々の熱心な演技、笑い涙があり、こころ温まる、癒しの要素も多く含まれていた内容でした。また、今後も続けてほしい・他の地域でも開催してほしいとの意見も聞かれました。以上のことから住民フォーラムの目的は達成できたと考えます。次年度に向けては、今年度の成果を振り返り北空知地域医療介護支援センターの活動方針をもとに部会での活動について検討していきます。



心あたたまる素敵な
演劇でした



医療・介護・健康講座リーフレット作成

申込・問合せ先

ご希望の講座 No. をご確認ください。お申し込みください。

講座 ①～⑥、⑫ 市役所・町役場

開催日時・場所 希望に合わせて相談の上決定

対象者 北空知管内に居住または勤務、学校に在籍している団体

講師料 無料

申込方法 お住いの市町の地域包括支援センターへ申込。

申込・問合せ先

深川市地域包括支援センター ☎0164-26-2606

妹背牛町地域包括支援センター ☎0164-32-2414

秋父別町地域包括支援センター ☎0164-33-2111

北竜町地域包括支援センター ☎0164-34-7031

沼田町地域包括支援センター ☎0164-35-2120

講座 ⑪ 北空知障がい者支援センターあつぷる

開催日時・場所 希望に合わせて相談の上決定

対象者 北空知管内に居住または勤務する団体

講師料 無料

申込・問合せ先

北空知障がい者支援センターあつぷる ☎0164-22-1798

講座 ⑬ 北空知成年後見相談センター

開催日時・場所 希望に合わせて相談の上決定

対象者 北空知管内に居住または勤務する団体

講師料 無料

申込・問合せ先

北空知成年後見相談センター ☎0164-26-2411

講座 ⑭～⑳ 深川市立病院

開催日時・場所 希望に合わせて相談の上決定

対象者 北空知管内に居住または勤務する団体

講師料 無料

申込・問合せ先

北空知地域医療介護連携支援センター ☎0164-38-2200

講座 ⑦ 深川保健所

開催時間 平日9時～17時(30～60分)

開催場所 北空知管内

対象者 北空知管内に居住または勤務する団体

講師料 無料

申込・問合せ先

北空知地域医療介護連携支援センター ☎0164-22-1421

講座 ⑧～⑩ 定岡歯科医院

開催日時・場所 希望に合わせて相談の上決定

対象者 北空知管内に居住または勤務する団体

講師料 無料

申込・問合せ先

定岡歯科医院 ☎0164-32-4118

北空知地域医療介護確保推進協議会

事務局 北空知地域医療介護連携支援センター

深川市6条6番1号深川市立病院地域連携室内 ☎0164-38-2200

Let's learn!

医療 介護 健康

講師を呼んで学ぼう!

**医師・看護師・薬剤師
保健師・管理栄養士など**

医療・福祉分野のプロから学べる講座があります!

生活習慣病

認知症

福祉サービス

運動講座

感染症対策

フレイル

アレルギー

糖尿病

口腔ケア

禁煙

心の健康

ワクチン

他にも全部で32種類の講座があります **OPEN**

医療・介護・健康について 講師を呼んで学びませんか?

北空知地域医療介護確保推進協議会では、専門職である関係団体職員が講師として出向き、みなさんが知りたい・聞いてみたい・身につけたいと思うことをお伝えします。気軽に学び合うことができる講座をご紹介します。

講座テーマ 健康 No.1-10

講師 保健師・管理栄養士(深川市・妹背牛町・秋父別町・北竜町・沼田町)

- 生活習慣病・メタボ対策
生活習慣病とメタボリックシンドロームの理解と予防するための食事と運動
- 健康づくりのための食事や運動
バランスのとれた食事と無理なくできる運動をみつけるための体験
- 禁煙について
禁煙チャレンジの方法とポイント・たばこの害
- 熱中症予防
熱中症予防についての講話
- フレイル予防
フレイル予防についての講話とフレイルチェック
- 認知症予防
認知症予防についての講話と脳トレなど

※その他ご希望に応じて対応しますのでお気軽にご相談ください

講師 保健師(深川保健所)

- こころの健康について
高齢者向けであれば認知症やうつ病に関するこころの健康に関する内容が中心 ※その他については、要相談

講師 歯科医師・歯科衛生士・整骨セラピスト(定岡歯科医院)

- 健康寿命延伸のための健口教室
- オーラルフレイル
- 化粧療法

講座テーマ 福祉・介護 No.11-13

講師 相談支援専門員(北空知障がい者支援センターあつぷる)

- 障がい者計画の進捗
市障がい者計画のあらまし
- 介護が必要になったら
介護認定からサービスの受給まで

講師 相談センター職員(北空知成年後見相談センター)

- 成年後見制度について
成年後見制度利用についての相談、手続き支援、市民見学の養成と活動支援

講座テーマ 医療 No.14-19

講師 医師・看護師・薬剤師・放射線検査技師ほか(深川市立病院)

- 人工透析について
腎臓病と透析治療・透析のしくみ
- 生活習慣病について
生活習慣病ほか
- からだの検査のお話
放射線検査の種類と検査内容・臨床検査とは
- 薬の認知症
薬の正しい使用方法・副作用について
- 家庭看護について
食事の工夫・褥瘡(じよくそう)の予防・口腔ケア
- 尿もれのお話
尿もれの対策や紙おむつのつけ方、尿とりパッドの使い方についての講話

深川医師会主催 **暮らしの医学公開講座**

深川医師会では、地域住民の心身の健康増進のため、患者・関係機関・医師・市民団体などの協力と協賛を得て、公開講座を開催しています。多くの市民の参加をお願いします。

20 深川市立病院 内科

- 白内障
- 白内障
- 糖尿病と目
- 緑内障

21 深川市立病院 泌尿器科

- 前立腺疾患
- 排尿障害・尿失禁
- 腎不全・透析療法

22 深川市立病院 整形外科

- 認知症について
- 脳神経外科疾患
- 生活習慣病

23 池田こどもクリニック 小児科 津田 尚也

- アレルギー
- 敗血
- 感染症・ワクチン

24 みきた整形外科クリニック 整形外科 三木 昭光

- 骨粗しょう症
- 腰痛・膝痛・肩痛
- 関節リウマチ

25 吉本歯科 精神神経科 佐本 三郎

- うつ病
- 不眠症
- 認知症

26 成田病院 内科 成田 陽彦

呼吸器一般

27 永根クリニック 耳鼻科 本間 博

耳鼻科領域

28 市田病院 内科 市田 博幸

ピロリ菌と胃の病気

29 たかはし内科消化器内科 内科 高橋 公平

食道・胃・十二指腸の病気と治療(胃から家まで)

30 北空知立時療所 内科 瀬本 孝彦

正しい生活習慣の取り直し

31 町立沼田南クリニック 内科 堀村 俊彦

- がんと緩和ケア
- 禁煙

32 町立沼田南クリニック 外科 藤本 隆司

結腸直腸

申込・問合せ先 深川医師会事務局 ☎0164-23-4406

開催日時・場所 希望に合わせて相談の上決定(講演時間は1時間程度)

対象者 企業・公共団体・学校(教職員・PTA・高校生以上の生徒・学生)、町内会・老人クラブ・住民団体などでおおむね10人以上

講師料 無料

【北空知地域リハビリテーション活動支援事業】

居宅訪問



通所訪問



地域ケア会議



関係スタッフと居宅訪問し、自立支援に向けた環境整備、支援サービスについて助言を行う。

通所事業所にて集団活動や対象者へ助言を行う。

地域課題の協議、事例検討会へ参画する。

介護予防事業



サロン、老人クラブ、健康教室等にて「自助」「互助」への動機を高める講話を行う。

スタッフ研修



事業所・施設等にて訓練指導員、看護・介護スタッフへリハビリ技術についての研修を行う。

【地域リハビリテーション活動支援事業実績】

年度	深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町	沼田町	合計
令和6年度	167	51	49	46	38	351
令和7年度	153	43	65	40	27	328

	年度	個別訪問	通所訪問	ケア会議	介護予防等	研修会	その他	合計
深川市	6	128	5	14	16	1	3	167
	7	114	16	10	12	0	1	153
妹背牛町	6	31	0	11	8	1	0	51
	7	25	0	11	6	1	0	43
秩父別町	6	36	0	4	8	0	1	49
	7	51	0	6	7	1	0	65
北竜町	6	22	4	10	6	2	2	46
	7	22	0	11	4	3	1	40
沼田町	6	23	0	0	14	1	0	38
	7	11	0	0	15	1	0	27
合計	6	240	9	39	52	5	6	351
	7	223	16	38	44	6	1	328

- ・令和6年度より派遣リハビリ職が減少する。関係者と協議を重ね、支援内容、派遣時間短縮、報告書の簡潔化など業務を見直す。 令和7年度実績 前年度比-23件 合計328件。

【個別訪問】

○実績

年度	深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町	沼田町	合計
R1年	39	15	46	11	10	121
R2年	36	15	37	17	13	118
R3年	54	17	36	12	38	157
R4年	56	22	33	24	54	189
R5年	120	27	27	23	38	235
R6年	128	31	36	22	23	240
R7年	114	25	51	22	11	223

- ・ 秩父別町で前年度比+15件 42%増加
(他市町はやや減少)。
- ・ 1市4町実績 前年比-17件 合計223件。

○依頼先

地域包括支援センター					
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
深川市	49	85	94	81	
妹背牛町	20	26	30	25	
秩父別町	24	19	14	29	
北竜町	18	18	15	11	
沼田町	33	13	8	6	
合計	144	161	171	152	

- ・ 秩父別町地域包括支援センターは増加。

居宅介護支援事業所					
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
深川市内居宅	7	35	34	33	
妹背牛りぶれ居宅	2	1	1	0	
秩父別町内居宅	9	8	12	22	
北竜永楽園居宅	6	5	7	11	
沼田社協居宅	21	25	15	5	
合計	45	74	69	71	

- ・ 秩父別町社協居宅事業所、和敬園居宅事業所、北竜永楽園居宅事業所は増加。

○依頼内容

R7年度	自助	環境/用具選定	関係機関等助言
深川市	91	10	37
妹背牛町	19	5	8
秩父別町	32	11	15
北竜町	4	1	10
沼田町	2	5	7
合計	148	32	77

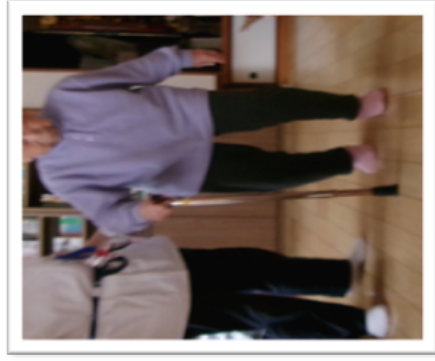
- ・対象者は運動器疾患を有する要支援者が多く、自宅で出来る自助（疼痛ケア）に関する指導依頼が多い。
- ・関係機関への助言では、77件中65件が訪問看護。



○訪問看護ステーション連携実績

R7年度	みのり	深川訪看	いしずえ	みんなそら	合計
深川市	20	6	7	0	33
妹背牛町	7	0	0	0	7
秩父別町	12	0	3	0	15
北竜町	2	1	0	0	3
沼田町	6	1	0	0	7
合計	47	8	10	0	65

- ・訪問看護ステーションでは、パーキンソン病等の神経難病、脳梗塞後遺症者、心肺機能低下者、認知症等の方々に対する心身機能に
応じたリハビリ方法、支援方法について助言を行う。



【通所訪問】

○実績

年度	深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町	沼田町	合計
R1年	12	8	0	17	0	37
R2年	9	4	0	6	0	19
R3年	1	0	0	10	0	11
R4年	0	0	0	8	0	8
R5年	1	0	0	4	0	5
R6年	5	0	0	4	0	9
R7年	16	0	0	0	0	16

- ・ R2年度の感染対策以降から減少傾向となる。
R6年度は、各地域ケア会議にてリハビリ職を活用した取り組み事例について普及啓発を実施。
前年度比+7件 合計16件。

令和7年10月

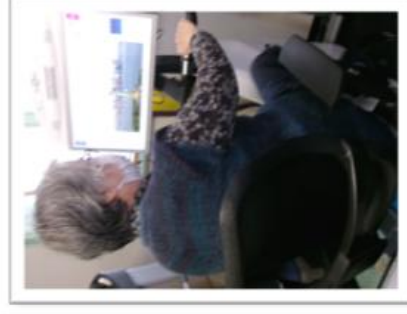


令和7年12月



- ・ デイサービスにおける自主運動について助言を行い、歩行能力を高め転倒予防を図る。

心肺機能を確認しながら
エルゴメーターの負荷量
について助言を行う。



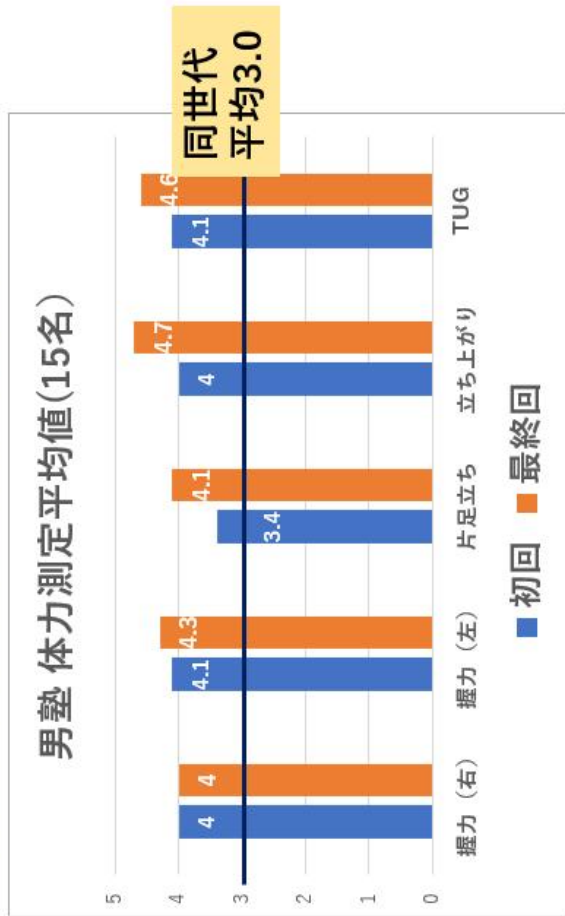
【介護予防事業】

○実績

年度	深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町	沼田町	合計
R1年	18	2	4	0	14	38
R2年	24	5	7	1	10	47
R3年	18	3	6	5	10	42
R4年	15	6	6	6	16	49
R5年	19	10	6	7	14	56
R6年	16	7	8	6	13	50
R7年	11	6	7	4	15	43

- ・R7年度は、沼田町でリハビリ職の活用機会が増えるが、他市町ではやや減少。 前年度比-7件 合計43件。

○深川市 男塾 半年後の変化



- ・参加者から・・・
「仲間と楽しく続けられた」
「前向きな気持ちになれた」
好評が聞かれる。
- ・健康と生活習慣を見直す機会となる。

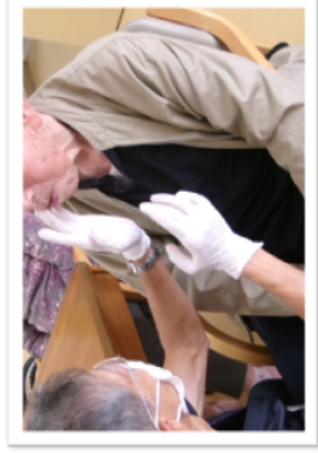


【スタッフ研修】

○実績

年度	深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町	沼田町	合計
R1年	4	0	0	5	1	10
R2年	0	0	0	2	0	2
R3年	0	0	0	1	0	1
R4年	0	0	2	5	0	7
R5年	2	0	1	7	1	11
R6年	1	1	0	2	1	5
R7年	0	1	1	3	1	6

- ・R6年度は、各地域ケア会議にてリハビリ職を活用した研修内容について普及啓発を実施。
前年度比+1件 合計6件。



- ・言語聴覚士より、嚥下機能評価から適切な食事形態について研修を受ける。



R6年度 リハビリ研修実施施設

深川市 : デイサービスみんカフェ
 妹背牛町 : グループホームべにばら
 北竜町 : 特別養護老人ホーム永楽園
 : グループホーム碧水
 沼田町 : グループホームなごみ

R7年度 リハビリ研修実施施設

妹背牛町 : グループホームべにばら
 秩父別町 : グループホームべにばら
 北竜町 : 特別養護老人ホーム永楽園
 : グループホーム碧水
 沼田町 : グループホームなごみ